

# せいじの

平成21年6月

134号

青磁野リハビリテーション病院  
 せいじの健診センター  
 介護老人保健施設 青翔苑  
 グループホーム あおぼの家  
 せいじのデイケアセンター  
 地域介護相談センターけあまっぶ城西  
 訪問看護ステーション城西  
 せいじのヘルパーステーション  
 熊本市西2地域包括支援センター西山  
 熊本地域リハビリテーション広域支援センター

## 的確な情報をお届けします お薬のこと、栄養のこと、検査のこと お気軽にご相談ください

当院の診療技術部は、薬剤管理科・放射線科・臨床検査科・臨床栄養科の4つの部署で構成されており、それぞれの専門職が医師・看護職員・リハビリスタッフ等と連携・協働しながら、チーム医療の一端を担っています。

患者さんに対する薬剤・栄養指導のほか、高精度の検査機器を駆使して、診療現場や健診部門に的確な専門医療情報を迅速に提供できるよう頑張っています。

当院でもMRI検査やCT検査ができるのをご存知でしょうか？CT検査では「おへそ」のまわりを撮影することで内臓脂肪の状態を知ることでもでき、メタボリックシンドロームの診断に有用です。

5月に実施した看護週間のイベントでは、地域の方からのお食事・栄養に関するご相談をお受けしました。春と秋に病院で開催するご家族の集いでは、お薬に関するご相談もお受けしています。是非ご来院いただいて皆様方とお話しが出来れば幸いです。ご相談窓口は外来待合に設置されていますので、ご利用いただければ皆様とお会いする機会がもっと増えるのではと思います。

地域の皆様方とは直接お会いする機会が少ない診療技術部門ですが、「Be the Best Partner」を目指し、微力ですが地域の医療に少しでもお役に立てればと各専門分野で日々努力しています。



青磁野リハビリテーション病院  
 診療技術部長 兼 臨床検査科長  
 緒方まり子

平成15年11月より診療技術部長



外来中庭にある小さな花壇の手入れをしています。お時間のある方は覗いてみてください。

アジサイ、ヒメシャラ、パンジー、ハイビスカスなど…



せいじの134号

- 脳卒中ってどんな病気？
- 「介護予防」実践中！

- クローズアップ！ソーシャルワーク部門
- 熊本地域リハビリテーション広域支援センター

## 早期の対応が鍵となる！ 脳卒中ってどんな病気？

### 脳梗塞と脳出血

脳の血管障害が原因で病に倒れることを脳卒中と呼びます。脳卒中には主に脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。脳梗塞は脳に栄養を運んでいる血管がつまることで発生します。脳出血は脳の中を通る血管が破れて出血することで起こり、くも膜下出血は脳の表面に生じた血管のコブ（動脈瘤）などが破れ、脳を包んでいるくも膜の内側に出血することで起こる病気です。

### 早期の対応が重要

いずれの病気も傷ついた脳の部位やその大きさが症状が全く異なりますが、重症の場合は意識がなくなります。

脳梗塞では、頭痛はあまりなく顔や手足の片側に急に症状が出るのが多く、「顔がゆがんで口からこぼれる」「言葉がうまく話せない」「手足が片方動かない」などの症状に気づいたら、様子をみようとは考えず、すぐに医師に症状の確認をしてもらうことです。「明日かかりつけ医に相談しよう」と判断するのは誤りで、受けられるかもしれない先進治療が時間切れで受けられないことや、症状が進行して重症化してしまうことがあります。

脳出血も同じように、重症化しないためには早い対応が重要です。



内科・神経内科 医師  
安野 嘉郎（やすの よしろう）

くも膜下出血は、残念ながら出血した後は危険性が高いため、脳ドックなどで調べておくことが良いと思います。ただ、もし動脈瘤が見つかったら手術を受けるか否かまで考えておくことをお勧めします。

### 予防のために

脳卒中にならないようにするためには、高血圧、糖尿病、不整脈（特に心房細動）、喫煙、多飲酒などに注意しましょう。

脳出血に関しては、血圧管理が重要で日頃から血圧を測ることが特に大切です。最近では、血圧130/80mmHgを下回ることを目標に管理することが望まれています。

心房細動は不整脈の一種で加齢に伴い増える病気ですが、これによる脳梗塞が増えています。予防には血液が固まらないようにする薬を飲む必要がありますが、効果・副作用・注意すべき事柄などを十分に理解しておく必要があります。

日頃から脳卒中の予防についてかかりつけの先生に話を聞いておくことをお勧めします。

## クローズアップ！

### ～青磁野リハビリテーション病院 ソーシャルワーク部門 編～

ソーシャルワーク部門では、ご入院から退院までの療養生活上の悩み・心配ごとに対してのご相談をうかがっています。

具体的な内容としては、退院後の生活や環境について、介護保険に関すること、入院費などの経済的なことについてのご相談、また行政・関係医療機関・福祉施設・介護サービス事業所との連絡・調整を行っています。

ご入院に伴い、患者さん・ご家族はさまざまなご心配を抱えておられますので、私たちソーシャルワーカーは、そういったご不安が少しでも軽くなれるようなお手伝いができればと考えています。



後列左から  
永井、芹川（主任）、  
布田（主任）、吉村  
前列左から  
福海、木下、満田



当院ではご入院中の患者様お一人おひとりに担当のソーシャルワーカーがおりますので「こんなことは誰に相談したらいいのかな？」と思われるようなことがありましたら、どうぞお気軽に私たちソーシャルワーカーにご相談ください。

# 熊本地域リハビリテーション 広域支援センター始動！



本年4月に広域支援センターの指定を受け活動を開始しました。広域支援センターでは、①地域の介護予防に関する人的支援、啓発活動、②地域リハビリテーション施設等の従事者への支援、③関係機関、団体との連携、に関する業務内容を取り扱います。具体的には、地域のふれあいいきいきサロンなどをはじめとする介護予防活動へのスタッフ派遣、家族介護者教室などの啓発活動支援、地域支援事業など、地域住民を対象とする活動があり、以前からの取り組みも多く含まれています。さらには、地域リハビリテーションに関する研修会の開催、広域支援センターニュースの発行、関係機関や団体との連絡会議の開催等を計画しています。

障害をもつ人々や高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、医療、福祉、保健と生活に関わる人々がリハビリテーションの立場から行う活動すべてが、「地域リハビリテーション」です。在宅支援のみならず、入院から退院のプロセスの中で、これまで連携をキーワードに取組んできた活動も多く含まれると思います。熊本市西部地区を担当する広域センターとして、地域包括支援センターをはじめとする関係機関と連携を取りながら、地域の様々なリハビリテーション資源を把握し、情報発信していきたいと思ひます。



## いつまでも元気ですごすために… 介護予防実践中!!



皆さまに住みなれた地域でいつまでもお元気で過ごしていただけるように、当法人では熊本市の委託を受けて、介護予防事業を実施しています。

委託事業は、運動器の機能向上（Ⅰ・Ⅱ）、口腔機能の向上、栄養改善の3つです。

今回は、現在委託されている運動器と口腔の介護予防事業をご紹介します。

### ●口腔機能の向上事業

月1回3カ月の期間で、飲み込み（嚥下）機能の簡単なチェック、嚥下体操、入れ歯の手入れ、歯磨きの仕方などの説明を行っています。「知って得するお口の機能」と題してご説明しながら、ご自身の口腔内の状態把握と適切なセルフケアができるよう支援しています。



### ●運動器の機能向上Ⅰ・Ⅱ事業

ボールやチューブ等を用いた運動（運動器Ⅰ）や、マシントレーニング（運動器Ⅱ）を理学療法士、健康運動指導士などの専門スタッフが指導し、個人の体力レベルに合わせた運動プログラムを提供しています。

（運動器Ⅰ）



（運動器Ⅱ）



# 外来診療担当表

平成21年6月1日～

## ★診療時間★

(月～金曜)

午前／9:00～12:00

午後／14:00～17:00

(土曜)

午前／9:00～12:00

※予約制の診療をご希望の場合は、事前にご連絡ください。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	理事長	理事長	石本	理事長	竹内	橋本
		石本	堀岡	橋本	安野	橋本	—
	午後	—	三浦	堀岡	岩岡	—	—
整形外科	午前	院長	院長	院長	院長	院長	—
	午後	予約制					—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	皆本
泌尿器科	午後	—	—	担当医	—	—	—

## 行事のご案内

**6月** 花園7町内ふれあいいきいきサロン(10日)  
ふくし相談会(13日)  
花園5町内ふれあいいきいきサロン(17日)  
城西1町内ふれあい「お達者」サロン(24日)  
栄養教室「糖尿病と口腔ケアについて」他(26日)

**7月** 花園7町内ふれあいいきいきサロン(8日)  
ふくし相談会(11日)  
花園5町内ふれあいいきいきサロン(15日)  
城西3町内ふれあいいきいきサロン(18日)  
栄養教室「調理実習・振り返り・まとめ」(24日)  
LMD研究会「医療公開講座」(25日)  
城西8・9町内ふれあいいきいきサロン

**8月** 花園7町内ふれあいいきいきサロン(12日)  
ふくし相談会(8日)  
花園5町内ふれあいいきいきサロン(19日)  
栄養教室「糖尿病について」(24日)

※「ふれあいいきいきサロン」は、地域主体の活動にご協力しているものです。

### ●金澤会理念●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

### ●基本方針(3本柱)●

#### 1. 医療(メディカル・ケア)

内科・皮膚科・整形外科・リハビリテーション医療の専門病院として、質の高い医療サービスをご提供します

#### 2. 福祉(ソーシャル・ライフ・ケア)

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

#### 3. 健康(ヘルス・プロモーション)

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

### ●青磁野リハビリテーション病院 患者憲章●

患者様には次の権利があります。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 医療に関する説明や情報を知る権利
3. 選択の自由と自己決定の権利
4. 個人の情報が守られる権利
5. 尊厳を守られる権利

## 金澤会のデータ

### 病院診療情報

(平成20年度)

- ・外来患者延数 35,288人(1日平均120.4人)
- ・延べ入院患者数 76,804人(1日平均210.4人)
- ・新入院患者数 679人
- ・退院患者数 684人
- ・平均在院日数
  - 一般病棟 16.0日
  - 回復期リハビリテーション病棟 76.2日

### 訪問看護ステーション城西

- ・延べ訪問件数 2,414件

### 訪問リハビリテーション

- ・延べ訪問件数 2,285件

### せいじのヘルパーステーション

- ・延べ訪問件数 36,291件

### けあまっぷ城西

- ・延べ計画件数 4,011件

### 熊本市西2地域包括支援センター西山

- ・延べ計画件数 3,472件

### せいじのデイケアセンター

- ・延べ利用者数 9,869人(1日平均33.7人)

### 青翔苑(通所)

- ・延べ利用者数 9,481人(1日平均30.6人)

### 青翔苑(入所)

- ・延べ利用者数 19,854人(1日平均54.4人)

### せいじの健診センター

- ・ドック(日帰り・宿泊) 350件
- ・健診 2,081件

### 金澤会職員総数(平成21年6月1日現在)

- 常勤職員 365人
- パート職員 108人
- 合計 473人

## 編集後記

じめじめとうとう暑い季節ですが、植物達にとっては恵みの雨です。こちらも自分なりの過ごし方を見つけて、「雨もまた良し」と、心に余裕を持ちたいと思います。

せいじの134号 平成21年6月

発行●医療法人金澤会

発行人●金澤 知徳

編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

http://www.seijino.or.jp/



平成18年12月認定